

穴吹不動産流通株式会社 広島店 市況レポート (11月)

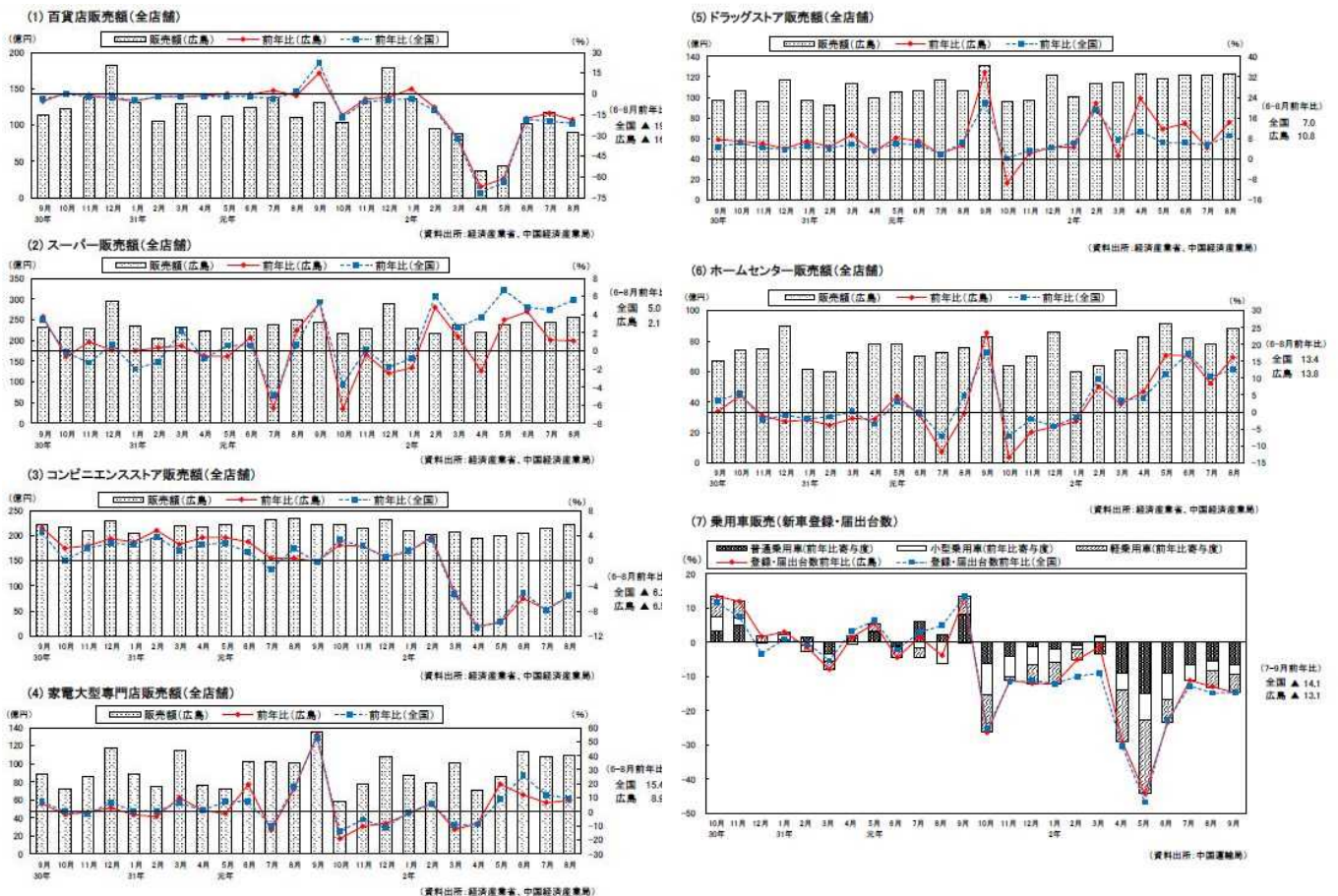
広島県の経済情勢について (中国財務局 令和2年10月28日公表)

「令和2年8月までの個人消費について」

百貨店販売は花火大会などのイベント自粛の影響で浴衣などの衣料品が、前年を下回っています。

ドラッグストア販売はアウトドア関連需要の増加、ホームセンター販売は在宅時間の増加から、住環境改善 (DIY や園芸) を目的とした来客数が増加、家電販売も住環境改善 (テレビなどの白物家電) を目的とした来客数が増加で、前年を上回っています。

スーパー販売は内食や備蓄需要の増加が続いており、生鮮食品・冷凍食品などが好調に推移している。また、プチ贅沢として価格の高い肉や刺身なども好調に推移しています。



個人消費は、コロナ禍の影響がみられるものの、緩やかに持ち直しています。

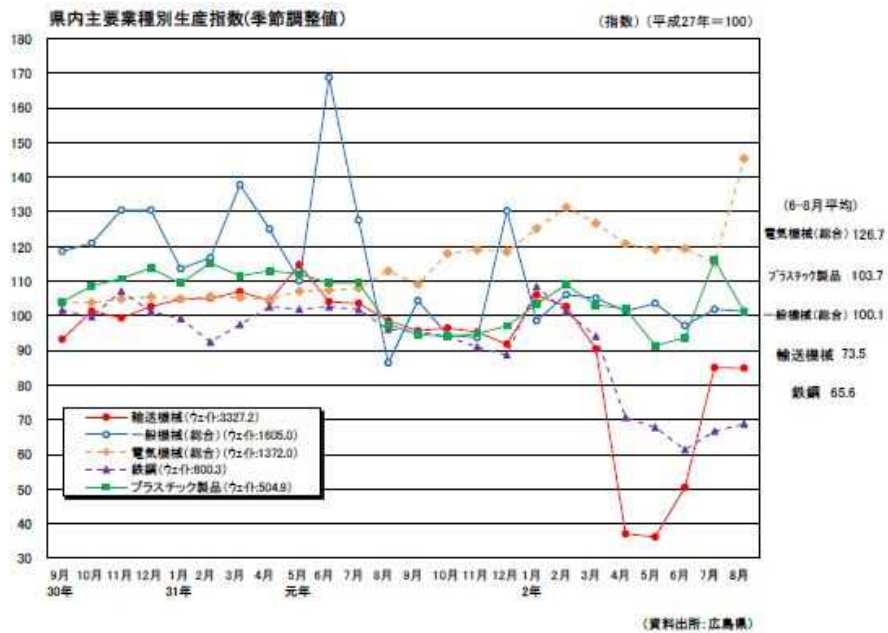
「令和2年8月までの生産活動について」

輸送機械は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の水準には戻ってはいないものの、海外向けで需要が持ち直し始めています。

プラスチック製品は、在宅勤務や子供学習用としてのタブレット端末の需要が好調となっています。

一般機械は、企業が設備投資に慎重になっており、新規受注件数が減少しています。

鋼材は、需要が減少していることから生産水準は低いものの、自動車向けの需要は増加しており、生産が徐々に回復してきています。

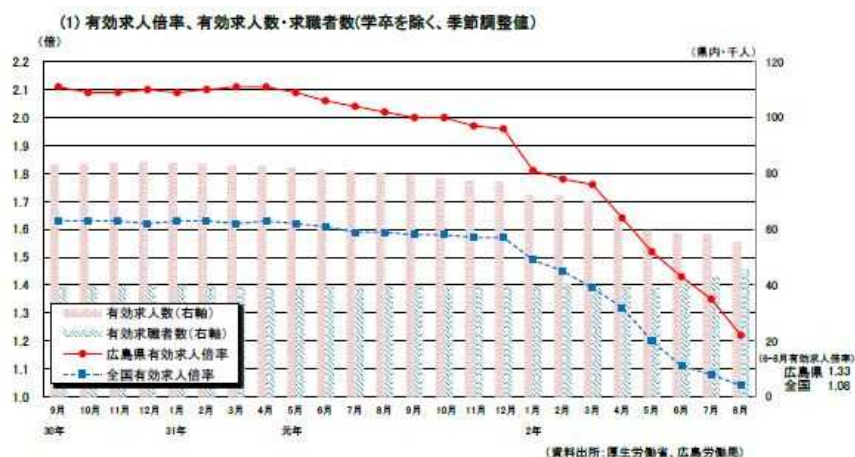


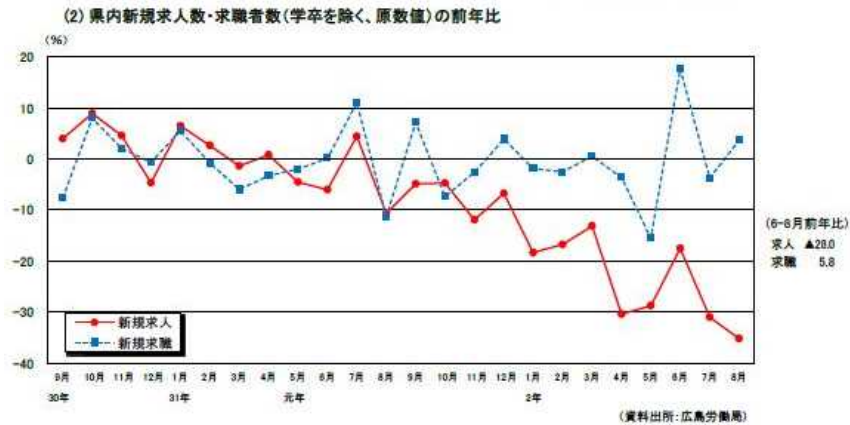
生産活動は、コロナ禍の影響がみられるものの、持ち直しの動きがみられます。

「令和2年8月までの雇用情勢について」

宿泊業は、売上の大半を占める宴会需要が無くなり、業務量が激減し、従業員が過剰気味となっています。

人材派遣業は、新卒採用予定人数を当初より減らすなど、企業の採用への意欲は減退傾向にあります。





雇用情勢は、コロナ禍の影響により、弱含んでいます。

「まとめ」

県内経済は、コロナ禍の影響により、厳しい状況にあるものの、令和2年7月頃は足下では下げ止まりの動きがみられ、現状は持ち直しの動きがみられます。先行きについては、感染拡大防止策を講じつつ、社会経済活動のレベルを引き上げていく中で、各種政策の効果もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されています。ただし、感染症が地域経済に与える影響に十分注意する必要があります。

今後の先行きはまだまだ不透明です。ご自身の資産を守るために、現状の資産価値を把握しておくことは大切な行為です。不動産に関するご質問等がございましたら、是非あなぶき不動産流通にご相談下さい。大切なご所有不動産の有効利用をご提案させていただきます。